

白神ねぎ

病害虫の発生が更に多くなる時期ですので、圃場を確認しながら適期防除に努めましょう。

- 【病害】**
 降雨の状況や気温の推移に注意しながら圃場を確認すること!!
- ・軟腐病 オリゼメート粒剤、ヨネポン水和剤、スターナ水和剤、Zボルドー など
 - ・白絹病 モンカット粒剤、モンガリット粒剤、モンカットフロアブル40 など
 - ・べと病 リドミルゴールドMZ、レーバスフロアブル、フォリオゴールド など
 - ・さび病 ラリー乳剤、オンリーワンフロアブル、アミスター20フロアブル など

- ・黄色斑紋病斑（マダラ模様）対策のため、葉枯病（黒斑病）の防除をしましょう。
- ・ロブラール水和剤、ポリベリン水和剤、テーク水和剤 など
- ※夏ねぎの収穫が始まっているので、収穫前日数に注意しましょう。

- 【害虫】**
 気温高め推移で害虫の発生が多発傾向に!!
- ・ネギアザミウマ ダントツ粒剤、ハチハチ乳剤、アグロスリン乳剤、ディアナSC など
 - ※多発した場合は、系統が異なる剤や遅・速効剤の組み合わせによる混合散布が効果的です。
 - ・ネギハモグリバエ リーフガード顆粒水和剤、ベストガード粒剤 など

白神山うど

- 【摘芯について】**
 ・倒伏軽減のため、茎長80~100cmで摘芯する。
 ・本葉12~15枚時（お盆頃）、頂部に花蕾ができた頃が摘芯適期であるが、それ以前に倒伏する危険がある場合は早めに摘芯する。
- 品種特性 **【摘芯時期の目安】**
 紫芽の白：花蕾形成が早い 【7/下旬~8/中旬】
 群豊白：わき芽の生育が旺盛 【8/上旬~中旬】
 東武鯉玉：秋芽が発生しにくい 【7/下旬~8/中旬】

- 愛知坊主：風に揺られると秋芽になる【8/上旬~中旬】
- 排水対策について
 ・うどは湿害に弱いため、排水不良の圃場では明渠を掘るなどの対策を図る。
- 病害虫防除について
 ・アブラムシ類、カミキリムシ、メイガの発生を確認し、多発する場合は薬剤で防除する。
 スミチオン乳剤1,000倍（アブラムシ、センノカミキリ、ウドノメイガ）
 カルホス粉剤6kg/10a（センノカミキリ）
 アドマイヤーフロアブル2,000倍（アブラムシ類）

白神みょうが

- <葉枯病防除について>**
 ・最初株の頂部付近から軟らかい展開葉の新葉に白色斑点が生じ、その後、葉脈方向に拡大し大型白色病斑になります。
 ・比較的乾燥条件で発生しやすく、発生初期からの防除で発病の進展が抑制できます。
 ・防除薬剤は、ダコニール1,000を1,000倍（薬剤200cc）で水量200ℓ/10a散布します。

- <根茎腐敗病防除について>**
 ・葉鞘や根茎が侵され、地上部は枯死する。多湿条件では病斑部に薄い白色綿毛状のかびを生じます。
 ・土壌病害で、7月上旬以降に高温・多雨条件が続くと多発する可能性があります。
 ・防除薬剤は、ユニフォーム粒剤は収穫30日前のため、8月に収穫する場合は使用できませんが、9月以降収穫する場合ユニフォーム粒剤を1回使用した場合のみ、散布できます。
 ・薬剤使用量は、ユニフォーム粒剤を18kg/10a散布して下さい。ユニフォーム粒剤が使用できない場合には、ランマンフロアブル500倍又はオラクル顆粒水和剤2,000倍を3ℓ/㎡（3,000ℓ/10a）使用して下さい。

アスパラガス

露地栽培では、6月末から立茎（茎を1本残して栄養を蓄える）に入るので、伸ばした茎が折れないように管理しましょう。
 追肥の時期にもなりますので、S646やジシアンなどを

- 生育に応じて散布してください。
- 「茎枯病」 梅雨時期と9月に発生します。被害残渣から発生しますので、前年に発生した畑では注意しましょう。
- 「斑点病」 茎枯病と同じく被害残渣から発生します。風通しが悪くなると被害が大きくなるので注意しましょう。

白神きゃべつ

7月中旬には圃場の準備をし、また、連作障害を抑制するために土壌処理剤を散布しましょう。さらに、夏場は干ばつ被害になりやすいので、カルシウム等の資材も投入しましょう。
 定植時期は7月下旬から8月上旬です。遅くなると気温が低下するため結球しづらくなります。高単価を狙える9月中旬から10月上旬に出荷できるよう定植は遅れないようにしましょう。

- 定植前には、スタークル顆粒水和剤やプレバソフフロアブル5をトレーに灌注処理し、初期の害虫防除をしましょう。気象条件により異なりますが、2週間~3週間は効果が継続します。
 定植後は、干ばつ状態になりやすいためスプリンクラーなどの冠水設備の使用をお勧めします。さらに、干ばつに負けないようにするために、定植後には、速効性の肥料を若干量施用し活着がスムーズに進むようにしましょう。
 畝間・株間の除草は徹底しましょう。

稲作・畑作

営

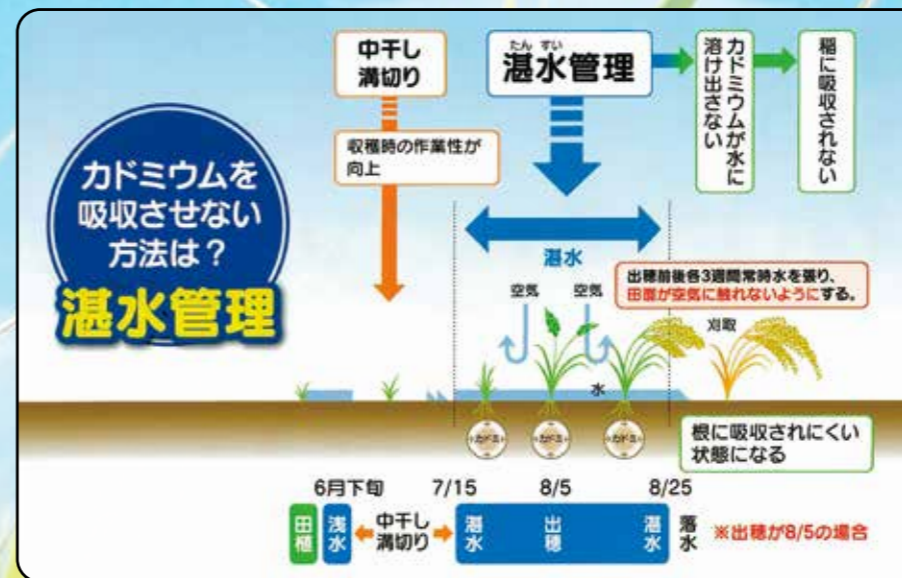
農

情

報

実施!
徹底!

湛水管理!



- 湛水管理のポイント**
- 6月下旬から中干しを開始し、強い中干しは避ける!
 - ぬかりやすく、水はけが悪い水田では中干しの際に、溝切りを実施!
 - 出穂前後各3週間は常時水を張り、田面に空気を触れさせない! 落水は遅めに!

カドミウムを稲に吸収させないために、
 湛水管理は最も効果のある対策です。
 7月中旬~8月下旬は湛水管理を必ず実施しましょう。

カドミウム濃度が0.4ppmを超える米を流通させると**食品衛生法違反**となります。汚染米を生産しないように水管理を徹底しましょう。

来月のあなたの運勢（2021年8月）

牡羊座（3・21~4・19）丁寧に積み重ねてきたことが花開きます。運勢は好調。いつもより積極的に行動するのが幸運を招く鍵